

令和5年第3回明和町議会定例会一般質問事項

1 9番 齋藤 一夫 議員

1. 物価高騰対策について

- (1) 燃料油の高騰が続いている。助成金を出すことはできないか。
- (2) 電気料金の高騰対策で国の助成があるが、まだ生活を圧迫している。町での助成を追加でできないか。
- (3) コストコの入会補助金を出したが、現状での申し込み状況は。

2 11番 奥澤 貞雄 議員

1. 研修派遣について

派遣職員が本来在籍している町との交渉をしてよいのか疑問である。

- (1) まちづくり会社への研修派遣はいつまで継続するのか。
- (2) 派遣している職員はどのような研修をしているのか。
- (3) まちづくり会社からの要望、指示に対して、協定書等で規制はもうけられているか。

2. 公用車使用について

町長専用車の私的利用について情報提供があった。そのため、情報開示請求により内容確認をした。

- (1) 町長専用車使用のガイドラインは。
- (2) 町長が私用で公用車を使用することはあるのか。
- (3) 情報開示内容による運行記録を見ると、三重県明和町からの派遣職員の歓迎会での使用となっているが、詳細説明を。

3. 町長の後援会ウェブサイト作成について

5月18日上毛新聞、19日朝日新聞、毎日新聞に掲載されていた町長の後援会ホームページ作成を職員に依頼した件について、私にも情報提供があったため確認したい。

- (1) 上毛新聞への町長の説明は適正か。

3 4番 栗原 孝夫 議員

1. 江口排水路について

以前、江口排水路はゲリラ豪雨の時に排水が間に合わないことがあった。最近、こども園付近と谷田川へ流れ込む所が改修された。これである程度安心できると思う。

- (1) この改修により、どれくらいの効果が期待できるのか詳細な説明を。
- (2) 江口排水路と谷田川の合流地点で、ポンプを使用した時にはかなりの効果があったと聞いている。将来、ポンプ導入等の予定はあるのか。

2. ふるさと大使ミュージアムについて

明和町ふるさと大使である野村誠一氏は、グラビア界では有名な写真家であり、フォトコンテストやモデル撮影会でも町に貢献していただいている。また、先月の初議会で美声を披露していただいた千歳ふみさんは、これからが楽しみな女優である。

- (1) ふるさと大使についての情報がないが、啓発はしないのか。
- (2) ミュージアムのように見学できる施設やブースを設置する考えは。

4 3番 三浦 次弘 議員

1. 不登校対策について

全国の小中学校で不登校の児童生徒が急増し、約30万人となる中で、文部科学省は令和5年3月31日に誰一人取り残されない学びの保障を社会全体で実現していくとの「COCOLOプラン」を発表した。町内小中学校での取り組みについて問う。

- (1) 「COCOLOプラン」を受けての町教育委員会の現状の取り組みは。
- (2) 教室に行きづらくなった児童生徒が、学校内で落ち着いて学習できる環境「スペシャルサポートルーム」等を設置している自治体も増えている。町の設置状況と今後の取り組みは。
- (3) 不登校の児童生徒への対応として、オンラインでの指導体制の現状と今後の取り組みは。
- (4) 不登校の生徒の高校進学を支援するため、多様な学びの場（自宅・スペシャルサポートルーム・教育支援センター等）での学びを学校での成績に反映させることが重要であるが、町の中学校での現状は。

2. 町の「災害対策本部」の非常用電源について

近年、気候変動による災害の激甚化や頻発化に対して、人の生命を守るための対策強化が必要である。万一災害が発生した時に、各自治体の庁舎等は「災害対策本部」を設置し、住民避難に係るサポートや被害状況の的確な掌握などの要となり、業務継続の確保は極めて重要となる。

- (1) 役場に設置されている非常時の発電機は、国の「防災基本計画」で示されている最低3日間（72時間）対応の発電機なのか。
- (2) 役場に設置されている非常時の発電機は、保守点検をしても、非常時に稼働しなかった時があったようだが、メンテナンスが適正に行われているのか。
- (3) 停電が長期化するなど、想定外の事態にも準備をすべきと考える。燃料販売事業者等との燃料優先供給に関する協定の締結はいかがか。
- (5) 昨今、都市ガス駆動やLPガス駆動の発電機などを導入し、普段の利用と併用して費用対効果を上げている事例もある。町でも災害時を考慮しガスエアコン等の設置を今年度実施予定だが、今後更新時にはメンテナンス費用や災害時の燃料供給の安定性等を含めた十分な検討をすべきと考えるが、町としての見解は。